



佐々木 大介

市議会活動報告

発行責任者／佐々木 大介
〒061-3257 石狩市樽川7条2丁目124番地
TEL.090-4877-2671 FAX.0133-77-5910
E-mail info@d-sasaki.com Facebook daisuke.sasaki.50552
HP www.d-sasaki.com ブログ http://ameblo.jp/d-sasaki-ishikari/

2017年
3月1日発行
Vol.2

活動ブログも
更新中!



■ 緑苑台地区から花川中学校への通学における冬期バス運行について



緑苑台地区から花川中学校への通学は、徒歩での通学に片道1時間程度の時間がかかり、これまで冬期間は宅地開発事業者によって貸切バスによるスクール便が運行されてきました。平成27年度の運行をもって宅地開発事業者による通学バス運行が終了したことから、今年度からの冬期の通学やバス利用の負担について、同地区より従来通りの継続を望む声が大きく、市の対応について質問を行いました。遠距離通学におけるスクールバスの運行基準の目安は中学校で6km以上となっており、市がバス利用者に対して補助をすることは他地域との公平性などの点で課題もありましたが、市教委、町内会、PTA、学校の4者による協議やこれまでの経緯を踏まえ、9月の第3回定例会で冬期バス運行に対する244万円の追加補正予算が市より提案され、議会にて可決をしました。

■ 石狩市の水道料金

1ヶ月当たりの一般家庭の水道料金

使用数量	札幌市	石狩市	割合
10m ³	2,074円	3,421円	165%
15m ³	3,515円	5,312円	151%
20m ³	4,957円	7,710円	156%
25m ³	6,691円	10,108円	151%
30m ³	8,424円	12,505円	148%

石狩市の水道料金は、札幌市の約1.5倍となっており使用数量に準じて加算される従量料金単価も1.3倍～1.6倍となっています。近年は節水意識の高まりや人口の減少とともに

市全体の水需要は減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くものと見込まれています。水需要の減少は水道料金収入の減少にも結び付くことから、一般会計とは異なる独立採算制である水道事業は、一自治体の努力だけでは料金の引き下げは難しく、広域的な取り組みが必要であると感じています。

平成25年より水源が当別ダムに切り替わり、恒久水源を確保出来る環境に変わりました。これまで石狩市は地下水を水源としており、都市化が進む中で水資源の確保は大きな課題でしたが、現在、安定した水源が確保された中で、使用量に準じ単価が高くなる従量料金は、子育て世代など世帯人数が多く使用数量が多い世帯ほど大きな負担となることから、従量料金の見直しについて平成27年第4回定例会で一般質問を行うとともに、今後においても市に対して料金体系の在り方について質問を行っていききたいと考えています。

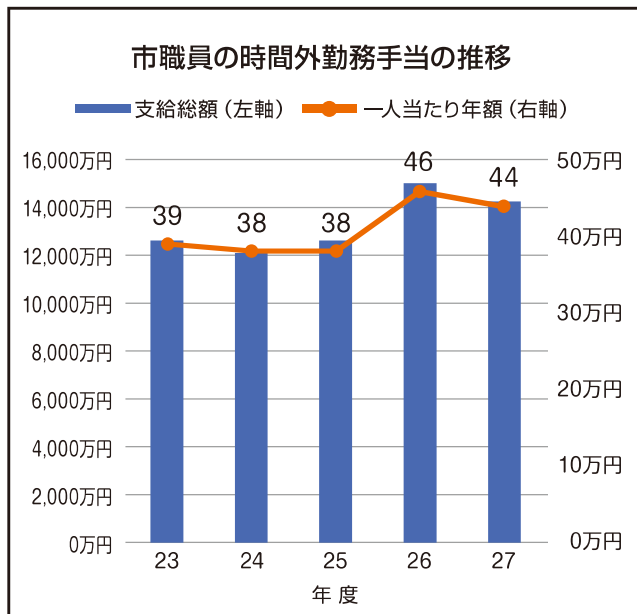
■ 議会ICT化の取り組み

市議会の議会改革推進特別委員会では、議会の情報公開のあり方や、議会基本条例の制定、議員報酬や議員定数のあり方など、より良い議会運営に向けた協議を行っており、その一つと



して一昨年より議会のICT化に向けた議論を進めてきました。今では、ほとんどの会社や家庭で使用されているパソコンやIT機器に関して、議会では機器の使用はおろか、持ち込みに関する規定もこれまで存在しませんでした。平成28年第3回定例会より膨大な会議資料などのペーパーレス化を進めることを目的とし、議案資料の電子データ化、パソコンの導入が始まりました。パソコン導入に伴い、各議員にノートパソコンが一台ずつ貸与されましたが、このノートパソコンは行政がリース契約を満了した払い下げ品を再利用することにより導入経費を大きく抑えています。まだまだパソコンの利用範囲は限定的ではありますが、今回の導入を契機として、さらなる活用の在り方を議論してまいります。

■ 市職員の時間外勤務



市は行政改革の一環として時間外勤務の縮減に取り組んでいますが、全く縮減に至っていない現状にあります。市村合併後は職員数の削減が進められ、新規採用職員が減って職員全体の平均年齢も上昇しています。時間外勤務は職員1人当たりの業務量とも関連してくることから、現在の職員定数が適正であるのかを含め、行政業務の効率化に対して平成28年第2回定例会一般質問、常任委員会で質問を行い、改善を求めました。

■ 石狩市学び交流センターの案内看板

旧紅葉山小学校の跡地にある「石狩市学び交流センター」は、文化活動やサークル活動などの拠点として市内外から多くの方に利用されていますが、住宅街の中に位置することから場所が分かりづらく、案内看板も見落とされがちで利用者からメイン通りの案内看板を見やすく出来ないかとの要望がありました。委員会にて指摘をさせて頂いたところ、この度、紅葉山通の案内看板が新しくなりました。



■ 婚活パーティーを開催

同世代に向けた交流事業で地域を盛り上げていきたいとの思いから、30代の市民有志と公益社団法人全日本不動産協会北海道本部さんとの共催で婚活パーティーを企画し、昨年12月に開催しました。議会活動とともに自らも率先して地域の盛り上げ役として新たな企画や運営に積極的に携わっていきます。



◆ あとがき ◆

多くの皆様からお力添えをいただき議員となって現任期の折り返しとなる2年が経過しようとしています。議員活動のかたわら仕事をし、様々な団体にも参加させて頂くなかで時間配分のバランスがとても難しく感じていますが、市民の代表者である事を忘れず、これからも自身の考えや議会の情報発信に努めてまいります。



DAISUKE SASAKI

佐々木 大介 プロフィール



学歴

昭和56年8月31日生まれ
平成6年 若葉小学校(現双葉小学校)卒業
平成9年 花川中学校卒業
平成12年 札幌国際情報 普通科 卒業
平成16年 北海道工業大学 土木工学科 卒業

職歴

平成16年～平成20年 北興コンクリート工業(株)
平成20年～平成26年 ブルーメン・ガーデン(有)
平成26年～(株)毛利産業

所属団体

石狩青年会議所 2017年度理事長
若手市議会議員の会
札幌ベースボールリーグ 青年審判部

大学卒業後、10年間サラリーマンとして働く。
平成27年5月に石狩市議会議員に初当選し、
現在に至る。

- 家族/妻
- 趣味/野球、スノーボード